

10106飲料（酒類を除く）製造業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2019	1	11 ～ 12	ジュース製造場にて、カゴに入った未殺菌製品34本を95℃の殺菌水槽に入れる際、カゴから1本殺菌水槽へ落下し、落下した製品を取る際、ゴム手袋上部の隙間からお湯が入り、右手首に火傷を負った。	46	11	713	10 ～ 29
2	2019	1	6 ～ 7	工場にて製造終了後、配管の洗浄を実施した際、配管継ぎ手部のパッキンを交換するため、ゴム手袋をしてネジを一気に外したところ滞留していた熱水が勢いよく吹き出し、右耳・首・右腕にかけて火傷を負った。	20	11	321	100 ～ 299
3	2019	2	16 ～ 17	製造準備のため、冷蔵庫に原料を取りに行った際、載っていた原料が重いためコロコンが動かず、奥から勢いよく押したため、原料がパレットごとコロコンから落ちそうになり、前に回り込み押さえて踏ん張ったが押さえきれず、パレットが左足に落下し、左足アキレス腱を断裂した。	53	4	362	50 ～ 99
4	2019	2	16 ～ 17	ウォーターボトル製造工場内を、ボトル洗浄機に薬品を投入するために歩いて移動したところ、床が濡れていたため足下が滑り、後ろ向きに転倒し、洗浄剤設置用の棚（金属製で高さ約50cm、横幅約40cm、奥行き約25cm）の角に左手を打ち付け左手の平、小指球部に切創を負った。	51	2	417	1～ 9
5	2019	2	12 ～	新設した架台の施工状況を確認するために階段を使い架台に上がった。状況確認後、階段を下りる際上から3段目辺りで足を滑らせ踏	47	1	413	50 ～

			13	み外し、尻もちをつきながら地面まで落ち、右肩甲骨を折った。				99
6	2019	2	2 ～ 3	飲料製造ラインの試運転中、製品搬送ローラーが回転していないため、設備を停止せず、脚立に上り、軍手を使用し、潤滑油を塗布したとき、回転していたベルトに手を巻き込まれた。その際、右手甲を負傷した。	38	7	224	100 ～ 299
7	2019	3	16 ～ 17	工場敷地内の美化活動中、駐車場に生い茂っている竹を切っていた際、切った竹が駐車していた車に当たりそうになり、右手でかばった。その際、落下してきた竹で右手薬指の靭帯を損傷した。	19	4	712	100 ～ 299
8	2019	3	11 ～ 12	個包装棟Cラインで、点検清掃作業中、取り外し清掃中だった計量ホッパーの組み付け作業中に誤って落下させた。落下した計量ホッパーが、下でコンベアの清掃作業をしていた被災者の左前腕部に接触し負傷した。	38	4	165	100 ～ 299
9	2019	4	12 ～ 13	飲料ラインの包装場内で、殺菌工程でカゴの入った製品を90℃以上の湯煎槽に浸漬し、カゴを湯煎槽から出す際、奥にあるカゴを時間経過前に取り出したため、耐熱性保護手袋をしていたが、手袋の内部に熱湯が入り、左腕手首から肘までの内側に火傷を負った。	28	11	379	50 ～ 99
10	2019	4	9 ～ 10	工場内ライン検査場で、パレット積みされている段ボールを移動しようとした際、急性腰痛症を発症した。	54	19	921	100 ～ 299
11	2019	4	4 ～ 5	踏み台に置いておいたパウチ袋が入った約15kgのプラスチックコンテナを移動させようとした際、腰を負傷した。	24	19	611	100 ～ 299
12	2019	4	20 ～ 21	外装パレットを荷締めするバンドを外す作業中、バンド専用ゴミ箱へ移動中、後退、旋回するフォークリフトと衝突し、右足甲部を負傷した。	58	6	222	50 ～ 99
			9	工場充填室でオートバルブの点検中、エアーホースがバルブから抜				500

13	2019	5	～ 10	けたため可動部に左手人差し指が挟まれ、指の裏側を欠損した。	39	7	165	～ 999
14	2019	6	～ 18	パイプ交換の作業手順説明時、パイプに残っていた熱湯（80℃程度）が思いのほか多く残っており、勢いよく出たため左足首に掛かり、熱傷を負った。	24	11	391	30 ～ 49
15	2019	7	～ 16	畜産加工現場でエアコンフィルターの清掃中、椅子と機械に上がってフィルターを外し、手に持ったまま下りようとしたとき、椅子で滑って落下した。その際、左手人差し指を脱臼した。	41	1	379	50 ～ 99
16	2019	7	8 ～ 9	高さ約3mある貯乳タンク上部のパイプを外し洗浄した後、タンクのはしごを登り、パイプを継ごうとしたとき、右足を滑らせ転落した。その際、右足大腿を打ち骨折した。ヘルメットおよび安全帯を着用していなかった。	62	1	371	10 ～ 29
17	2019	7	～ 12	工場内計量室で、副原料の袋を開封して規定量分を水槽に移し換える作業で、生産量の増加に伴い作業回数が増加し、発症する3日ほど前から、左胸部に違和感があり、胸部挫傷と診断された。	39	19	611	100 ～ 299
18	2019	8	～ 12	第1工場1階試作室の打錠機を清掃中に、回転盤の上下可動部にウエスを差し込んでしまった。その際、ウエスと一緒に左手中指を巻き込まれて、指の先端に挫創を負った。	51	7	169	50 ～ 99
19	2019	8	～ 10	資材倉庫で原料の出庫作業中、脚立上での作業が終わって下りる際、約1mの高さから飛び下りて着地したところ、バランスを崩して転倒し、左膝を強打して負傷した。	50	1	371	100 ～ 299
20	2019	8	～ 1	工場にて、ケース搬送コンベア階段部にて、ケース印字不良品を2ケース（250ml缶）を持ち階段を下りる際、足が滑り背中から転倒し、肋骨を折り、肺気胸を負った。	49	1	413	100 ～ 299
21	2019	9	～ 10	段ボール箱に入った荷物を車へ積むため駐車場に向かう途中、持っていた段ボールで足下がよく見えず、道路と駐車場の境にある側溝蓋の間に右足が引っ掛かった。その際、右足踝を溝にぶつけて骨折	67	3	418	30 ～ 49

				した。				
22	2019	9	1 ～ 2	工場にて、PET容器リンサー水の温度低下が発生し、温水タンクから交換作業中、取り外し部から熱水が噴き出し、背部・右上肢・右耳に掛かり、熱傷を負った。	57	11	312	100 ～ 299
23	2019	9	1 ～ 2	工場にて、PET容器リンサー水の温度低下が発生し、温水タンクから交換作業中、取り外し部から熱水が噴き出し、首から下の胸・腹・足首以外に掛かり、熱傷を負った。	52	11	312	100 ～ 299
24	2019	10	12 ～ 13	えのき選別ラインで、ほうきとちり取りを使って床の清掃作業をしていた。人とすれ違うため一旦パレットの上に乗った後床に下りたときに踏んでしまったエアースペースが滑り、バランスを崩し後方に転んでしまい腰をパレットの角にぶつけ負傷した。	59	2	417	100 ～ 299
25	2019	11	0 ～ 1	工場内製品検査にて、検査ボトルが流れてくるのを待っている間、フリーローラーの上に右手を置いていたところ、ローラーと上流側のコンベアの間にはめていたビニール製の手袋が巻き込まれ、そのまま手を巻き込んでしまい、右の甲に裂傷を負った。	58	7	224	50 ～ 99
26	2019	12	22 ～ 23	室内タンク付近にて、製造終了後のアルカリ洗浄中、タンクの蓋を閉め忘れ、跳ねた洗浄液が右頬部から首にかかり、頭部・右耳付近・顔面全体の化学熱傷を負った。	68	12	391	100 ～ 299
27	2019	12	14 ～ 15	ロッカー上部の清掃作業中に、床に下りようとしてバランスを崩し左足踵を強打した。	49	1	391	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。